

## 第1回水と緑の森づくり会議（H27.5.27） 議事概要

### 1. 水と緑の森づくり事業等について

#### ○藤原委員

- ・ 広報について、イベント開催が年に4回だが回数を増やせないか？ 尾原ダムの祭りにみーもくんを派遣できないか？  
→（事務局）事業費に限りがあるので今年度増やすことは難しい。みーもくんの着ぐるみを貸し出すことは可能。

#### ○世良委員

- ・ 貸出品の一覧表はあるか？  
→（事務局）一覧表はないが、着ぐるみ、紙芝居、焼きごてが貸し出し可能。

#### ○横山委員

- ・ 間伐によるCO2削減量の目安はあるのか。地元説明の資料として教えてほしい。  
→（事務局）森林活動サポートセンターで企業参加の森づくりの認証をしている。計算式で数字を出すことは可能だが、認証書を出せるかは確認が必要。

#### ○舟木委員

- ・ みーもスクールについて、今までの森林教室とは何が違うのか？  
→（事務局）従来の1回きりの授業ではなく、1校につき3回以上という条件があるため、継続した一連の学びが可能。

### 2. みーもの森づくり事業採択審査

#### ○藤原委員

- ・ 獣害のある地域において、民家の近くにクリを植栽する理由は？  
→（事務局）提案者へ植栽の意図を確認し、取組の目的に沿うように樹種選定に関する指導を行う。
- ・ 木造建築物で外装に木材が使われていない提案があるがいかがなものか。  
→（事務局）採択の優先順位に反映させるかどうかを検討する。

- ・（申請額が予算額を上回っていることについて）事業実施範囲の縮小や次年度への持ち越し等により削減してはどうか。

○鈴木委員

- ・（申請額が予算額を上回っていることについて）活動の大半を委託とされている団体より自前で活動される団体を優先して予算配分されてはどうか。
- ・海岸林の整備が森づくりの趣旨に合うのかが疑問に思う。  
→（事務局）海岸林は山地の木と違って育ちにくく、地元住民による取組が必要な面がある。

○舟木委員

- ・事業主体の参加だけで完結するのではなく、学校の子どもたちや外部の地域を巻き込んでいる提案を評価したい。

○事務局

- ・委託を必要とする急傾斜地における施業は、住民活動の継続性を考慮すると、無理に提案に入れる必要はないのではないか。
- ・活動区域が近接している提案同士について、参加者が重複している可能性がないか確認が必要。
- ・市町主体の自伐林家育成事業を水森事業で支援するのはいかがなものか。市町独自で実施すべき。